
令和5年度当初予算編成方針について



令和4年10月

財政部

I 本市財政を取り巻く状況

経済財政運営と改革の基本方針2022（R4.6.7閣議決定）

◆ 新しい資本主義に向けた改革

新しい資本主義の実現に向け、次の分野について、計画的で大胆な重点投資を官民連携の下で推進。

- | | |
|---------------------|--------------------|
| ① 人への投資と分配 | ② 科学技術・イノベーションへの投資 |
| ③ スタートアップ(新規創業)への投資 | ④ G X ・ D X への投資 |

◆ 防災・減災、国土強靱化の推進

- ・切迫する大規模地震災害、相次ぐ気象災害、インフラ老朽化等の危機に打ち勝ち、国民の生命・財産・暮らしを守り、社会の重要な機能を維持するため、「国土強靱化基本計画」に基づき、ハード・ソフト一体となった取組みを強力に推進。
- ・「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を推進し、引き続き、災害に屈しない国土づくりを推進。

本市の財政運営にもたらす影響を注視し、適切な対応が求められている

Ⅱ 本市の財政状況～令和5年度の財政見通し～

◆ 歳入面

- ・市税等は、新型コロナウイルス感染症の影響からの持ち直しが期待
- ・国等の新たな財源措置が望めず、一般財源総額の大幅な増加は見込めない

▶ **限られた財源をより有効に活用する必要**

◆ 歳出面

- ・いわき版『骨太の方針』に基づく取組み
- ・公共施設等の老朽化対策

▶ **多額の財政需要・財政調整基金の取崩しが必要**

◆ その他（懸念事項）

- ・新型コロナウイルス感染症の再拡大
- ・原油価格・物価の更なる高騰

▶ **更なる収支不足が発生する可能性**

財政収支の見通しは、予断を許さない状況

Ⅲ 基本的な考え方・基本方針

◆ 令和5年度予算編成に係る基本的な考え方

- ・ 令和5年度は、中期的な財政見通しに立ち、新たに策定した「いわき版「骨太の方針」」のもと、中長期的な課題に対し、すべての分野においてベースとなる「人づくり」を進める。
- ・ 若者から高齢者まであらゆる世代がいわきに魅力を感じ、いわきを誇りに思うまちを「人づくり」で実現するため、次の2点を基本方針として、行政資源を課題の解決と未来への投資に再配分し、予算編成に取り組む。

◆ 基本方針

① 「人づくり日本一」の実現を目指した政策の推進

② 将来にわたり持続可能な行財政運営の確立

IV 具体的な取組み

① 「人づくり日本一」の実現を目指した政策の推進

ア 次世代を育てる

教育

子育て

移住定住/流出抑制

D X / G X / 広報

イ 命・暮らしを守る

防災

医療

福祉/健康/地域包括ケア

中山間/担い手

ウ まちの魅力を高める

産業

農林水産

観光/文化/スポーツ

まち/公共交通

② 将来にわたり持続可能な行財政運営の確立

- ・ 各部各課、職員一人ひとりが、いわき市改革の主役であるという意識をもって、従来の発想にとらわれず、改善や見直しを徹底的に推進。
- ・ 行政資源を課題の解決と未来への投資に再配分するため、既存の取組みのスクラップを躊躇なく実行。
- ・ 「市民の利便性向上に資する行政D Xの推進」、「公共施設の最適化と維持保全への転換」などの視点で構造改革の取組みを着実に推進。
- ・ 市債発行については、可能な限り抑制。

V 要求基準

1 年度間の見通しに立った通年予算として編成

適切な進行管理と予算の着実な執行を踏まえ要求。

2 要求基準

区分	経費の主な内容	要求基準
(1) 義務的 経費	人件費・扶助費・公債費 ※いわき版「骨太の方針」に位置付く事業を除く。	<u>所要額での要求</u>
(2) 経常的 経費	経常的な事務事業の執行に要する経費や 施設管理に要する経費	<u>原則、部等ごとの枠配分方式</u> ※ 光熱水費等単価上昇分：所要額
(3) 臨時的 経費	大規模な維持補修事業等、災害復旧事業、 長寿命化事業等、会計年度任用職員制度 及び指定事業に要する経費	<u>所要額での要求</u>
(4) 政策的 経費	いわき版「骨太の方針」に位置付く事業に 係る経費	<u>所要額での要求</u> ※ 政策調整の中間整理状況報告に 基づく要求